

学力向上の取り組みNEWS

～共に学ぼう、共に高め合おう～

高校入試にも変化が出始めています

チームワーク入試では、5人1組でチームを組み、ABCDの4チームで議論を進めるよ。5人にはあらかじめ役割が与えられるんだ。

A ①賛成か反対、理由を言う人
②質問をする人
③質問に答える人
④提案をする人
⑤最終的な賛成か反対、理由を言う人

B ①
②
③
④
⑤

C ①
②
③
④
⑤

D ①
②
③
④
⑤

設定されたテーマを4チームで議論し、よりよい答えを導き出すのが目的だよ。さまざまな観点から意見を出せるように、各チームにはいろんな人になりきってもらんだ。

テーマ「コロナ禍において、対面授業を行うべきではない」

A オンライン環境がない公立高校
B 感染拡大によりベッドが足りない病院
C 在宅勤務している高校生の保護者
D 高校生用の教材開発会社

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

【タイムテーブル】トータル100分

| | |
|-----|-----------------------|
| 12分 | 資料を読み、自分で考える時間 |
| 8分 | 「賛成・反対・理由」を話し合う |
| 5分 | 1人1分で発表 |
| 10分 | 「質問」7分話し合い、1人30秒で質問 |
| 10分 | 「質問の回答」5分、1人1分で回答 |
| 15分 | 休憩 |
| 10分 | 「提案」5分で話し合い、1人1分で発表 |
| 10分 | 「最終の判断」5分で話し合い、1人1分発表 |
| 20分 | 振り返り |

入試は変わる??

進む大学入試改革

近年大学入試では「思考力」「表現力」「判断力」を重視する問題が多く出題されています。

この変化に追付くように、高校入試でも、思考力や読解力が求められる問題が多く出題され、都道府県によっては、公立高校入試問題でも出題されるようになってきました。

以前に「東京大学入試問題」についてお知らせした通り、求める人物像が「記憶した知識をアウトプットする」だけにとどまらず、「記憶した知識をうまく活用できる」に変化してきています。

今後、追手門学院高等学校のような「議論を通して新しいことを創り出す力」を見とる、特色のある入試は増加するかもしれません。授業でのグループワークや教え合い支え合う活動を通して、そのような力の礎が構築されると思います。一中生には、他者を尊重しながら自分の考えを発信できる大人へと成長してほしいと願っています。

上の問題は、「追手門学院高等学校 創造コース特色入試（チームワーク入試）」のサンプル問題です。受験生の中から5人1組でチームを組み、90分から100分で設定されたテーマについて実際に議論を行います。追手門学院高等学校の創造コースは2022年度入試（今年の入試）から、入試科目を以下のようにし、ペーパーテスト以外のチームワーク力をはかることとしています。

| | |
|------------|---|
| 一般・スポーツコース | 国語・社会・数学・理科・英語（各100点、各45分） ※ 英語リスニングを含む |
| 創造コース | 国語・数学・英語（各100点、各45分）・特色入試（300点 90分程度） ※ 英語リスニングを含む |

創造コースでは、国語・数学・英語（100点×3）と、特色入試（300点）が同等に扱われています。ここから、今後必要とされる力を持ち合わせた人材に入学してもらいたいという追手門学院高等学校の強い意志を見受けられます。この特色入試では、議論の様子をビデオで撮影し、問題を解決するための意見や、議論の参加方法、討議後の振り返りシートなどを300点満点で評価するそうです。

一中では、総合的な学習の時間をはじめ、道徳や様々な教科で「合意形成」や「他者の考えから自分の考えを見つめる」場面を設定するよう近年努めてきました。1年生から「SDGs」を題材にし、グループワークや個人で、自分の考えを発信する機会がたくさんあります。グループワークが苦手な人も、毎回の授業で、徐々に積極的に議論に参加し、自分の意見を発信する練習をすることで、力を伸ばしていった欲しいと思っています。でも、「自分の意見を言うのって苦手だな」と思う人もいます。事実、追手門学院高等学校の特色入試のサンプル問題の最後はこうしめくられています。「チームで話し合うことが好きな人、発表が得意な人、じっくり考えるのが得意な人、それぞれだよ。いろんな側面を見ているから挑戦してほしい。」

班やグループで議論を行うとき、全員が自分の意見を押し通すばかりだと議論にはなりません。「他者の意見を引き出すのが上手い人」「人の意見に常に興味をもてる人」「まとめるのが上手い人」「聞き上手な人」いろいろな人がいるから議論が進みます。大切なことは「積極的に参加すること」「他者に配慮ができること」だと思います。「自分の意見を言うのって苦手だな」と感じている人は、「意見が言えない＝悪いこと」と決して捉えないでください。先生たちもそのような生徒の皆さんを捉えていません。あなたにあった「自分が得意な役割」で議論に参加して欲しいです。そして少しずつ、自分の意見を他者に伝えられたらと思います。中学校でしているグループワークは力をつけるための「練習」です。練習で最高のパフォーマンスを絶対にしなければならないことなんてありません。練習はたくさん失敗していいはず。失敗しながら少しずつステップアップしていきましょう。

